

令和5年7月20日

学校だより 「花里の子」

令和5年度 第8号

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子

1学期終業式を迎えました。 ～家族の一員としての役割がある夏休みを！～

学校教育活動において、マスクの着用が個人の判断に任されるようになった1学期。5月には、感染症対策が大きく変わり、ポストコロナと呼ばれる学校生活に移行しました。

保護者の皆様、地域の皆様には、コロナ禍の生活にも増して、様々な形でのご支援とご協力をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、1学期に計画しました全ての行事を無事に終えることができました。自然学校、修学旅行をはじめとする校外学習や調理実習、水泳、話し合い活動等の学校での学習をとおして、子どもたちが強く、やさしく、たくましくなっていくのを感じることができました。本当にありがとうございました。

明日から夏休みです。子どもたちが家庭に戻り、家族の一員としての役割を果たす夏休みになってほしいと願っています。トイレやお風呂の掃除、朝のゴミ出し、郵便のチェック等、一人でできる仕事を見つけ、任せてください。子どもたちが自分で決めてくれるとなお嬉しいです。また、子どもたちが家庭や地域で元気いっぱい過ごせますよう、引き続き見守りをお願いいたします。

1学期の終業式では、日野原重明さんの『いのちのおはなし』を紹介しました。生涯現役医師であった日野原先生が、4年生の子どもたちに行った「いのちの授業」を再現した絵本です。

終業式

～あとがきより～

「いのち」は、誰にも平等にあります。1日1日の時間のなかに、いのちがあります。その時間をみんなのいのちとして大切にしてほしいのです。いのちを無駄にしないということは、時間を無駄にしないということになります。

人が生きていくうえで、もうひとつ大事なことがあります。それは、「こころ」です。……

命を大切に夏休みを過ごしてください。

2学期、さらにバージョンアップした子どもたちに会えるのを楽しみにしています。



楽しい夏休みにするためのひと工夫を！

規則正しい生活を続けよう！

今年の夏休みは、38日間です。長期休業中は、生活のリズムが崩れやすくなります。翌日が休みだからと言って、深夜まで起きていたり、朝寝坊したりすると、あっという間に生活リズムが崩れます。一度崩れてしまうと、元のリズムにもどるまで結構時間がかかります。

夏休み中も早寝早起き朝ご飯を心がけましょう。



お金の使い方を考えよう！



物の貸し借りに抵抗がない子が多いようです。「貸して！」「いいよ」と物が移動していきます。時には、「あげる」になることも…。

これは、お金に対しても同じで、自分の持っているお金で、友だちに物を買ってあげたり、友だちに物を買ってもらったりしているようです。ゲームセンターに行って、コインゲームやクレーンゲームをして多額のお金を使ったという話も聞きました。一学期には、お金の使い方に関係する生徒指導をたくさん行っています。

今年の夏は、お祭りなどの夏のイベントも復活の兆しがあります。また、子どもたちに臨時収入があるかもしれません。今一度、子どもたちとお金の価値や使い方についてご家庭でも話し合ってください。子どもたちがお金のトラブルに巻き込まれる前に…。



ICTと上手に付き合おう！

長期休みは、つついゲームやインターネット等を楽しむ時間が長くなりがちです。夜遅くまでして、生活リズムが崩れることもしばしば。夏休み中も時間を決めて、健康的にICTを活用してほしいと思っています。「もう少しだけ…」という気持ちに打ち勝ち、我慢することを覚えるのも大切です。自分で気持ちをコントロールできる力を鍛える夏休みであってほしいです。

マナーに気をつけよう！

みんなで使う場所は、みんなが気持ちよく使えるように、ルールやマナーを守りましょう。

ごみは持ち帰る！

公園でのボール遊びはしない！

自転車は、決められた場所にとめる！

小さい子も安心して遊べる公園になるよう気を配ることのできる花里の子でありますように！

